

特集

無線システムの拡大を担うアンテナ・伝搬及び関連システムの論文特集の発行にあたって



無線システムの拡大を担うアンテナ・伝搬及び関連システムの論文特集編集委員会

委員長 広川 二郎

スマートフォンや無線LAN等の高速無線通信システム、高画質テレビやラジオ等の放送システム、自然観測や測位等のセンシングシステムなど、無線システムは我々の社会生活に欠かせないものとなっており、さらに、エネルギー、環境、医療、防災等、新たな分野に無線システムが拡大しつつある。このように拡大する無線システムにおいて、アンテナ・伝搬技術は重要な役割を担っており、小形化、高性能化、高機能化等の従来からの研究テーマはもとより、他の機器との一体化や連携、上位システムとの融合など、新たな研究テーマが発掘されている。このように、学術の発展に大きく寄与できる性格をもつため、今年度も和文特集を企画することとした。

アンテナ・伝搬の分野では、第5世代移動通信などの無線システムの拡大に大きな貢献をしてきた。本特集では、アンテナ・伝搬の技術ならびにそれらと関係を有する無線システムの最新の研究成果について、論文を募集した。本特集は、アンテナ・伝播研究専門委員会（A・P研）が中心となって企画し、和文論文誌Bの毎年9月号に掲載しているアンテナ・伝搬関連特集（AP特集）の15号目となる。

今回の特集には、論文23編（研究会推薦論文3編を含む）・レター3編の投稿があった。厳正な査読の結果、最終的に論文11編・レター1編が採択された。これら

12編の一般投稿論文・レターに加えて、本特集では3編の招待論文を掲載した。それらは、Massive MIMOチャネルの漸近固有値分布と通信路容量、メタ・サーフェスの設計技術とアンテナ・伝搬への応用、複合モード励振による小形・平面アンテナの広帯域化に関する論文であり、無線システムの拡大を担うアンテナ・伝搬および関連システムに関して、その分野の最前線で活躍されている研究者の方々に執筆頂いた。これらの論文が、読者が無線システムの未来を考えていくヒントとなれば幸いである。

最後に、本特集を発行するにあたり、投稿頂いた著者の皆様、査読に協力頂いた査読委員の皆様、企画および編集作業に尽力頂いた編集幹事・編集委員の皆様、そして本会事務局の皆様深く感謝する。

ひろかわ じろう
広川 二郎（正員：フェロー） 昭63東工大・工・電気・電子卒、平2同大大学院修士課程了、平2東工大・工・助手、平8同大助教授、平19同大准教授、平27同大教授、現在に至る。博士（工学）（平6、東工大）。平6-7スウェーデン・シャルマー工大にて博士研究員。導波管スロットアレイアンテナ、ミリ波アンテナの研究に従事。平11-15本会通ソ和文論文誌編集委員、平16-19本会通ソ英文論文誌編集委員、平18-22本会通ソ和文マガジン編集委員、平21-23本会アンテナ・伝播研究専門委員会幹事。平8本会学術奨励賞、平19本会通ソ論文賞、平21本会通ソレター賞、平28本会論文賞、平24IEEEフェロー。

無線システムの拡大を担うアンテナ・伝搬及び関連システムの論文特集編集委員会

委員長	広川 二郎
副委員長	高橋 徹・道下 尚文
委員	有馬 卓司・岩井 浩・木村 雄一・高橋 応明
	武田 茂樹・中澤 進・流田 理一郎・西森 健太郎
	平山 裕・堀 智・山田 寛喜・山田 渉